マルマス循環式精米機

しろがね-SLA型

取扱説明書

この度は、マルマス循環式精米機
“しろがね-SLA”
をお買上げ頂き
厚く御礼申し上げます。

ご使用まえには
必ず（取扱説明書）を熟読され
末長くご愛用ください。

なお、不明瞭な点がありましたら
販売店もしくは当社宛てに
お問い合わせください。

⚠ 警 告

◎この取扱説明書を熟読され充分に理解された上で、本機の操作及び保守・点検を行ってください。

◎この取扱説明書を本機の操作及び保守・点検を行う場合にいつでも見られるように大切に保管してください。

マルマス機械株式会社

重要なお知らせ

⚠ 警　告

◎この機械の操作及び保守・点検を行うときは、必ずこの取扱説明書に従ってください。

◎この取扱説明書に従わなかったため、あるいは誤用や無断改造がなされたために怪我を負ったり、損害が発生したとしても、当社及び販売会社は一切その責任を負いません。

1）近年農業機械には新しい材料や加工方法の採用により、さまざまな危険が数多く発生する傾向にあります。
この機械の取扱上の危険についても、すべての状況を予測することはできません。
そのためこの取扱説明書の記載事項や機械に表示してある注意事項は、すべての危険を想定しているわけではありません。
従って機械の操作または日常点検を行う場合は、この取扱説明書の記載及び機械本体に表示されている事項に限らず、安全対策に関しては充分な配慮が必要です。

2）この取扱説明書について質問やより詳しい情報が必要な場合は、当社又は購入店にお問合せください。

3）この取扱説明書において、万一ページの乱丁や落丁などがあった場合は、お取り替えいたしますのでお手数ですが当社又は購入店までご連絡ください。

⚠ 警　告

◎この機械の操作及び保守・点検を行うときは、必ずこの取扱説明書の指示・警告に従ってください。
もし疑問点又は不明な点がございましたら、当社又は購入店にお問合せて回答を得るまで作業を進めないで下さい。

目　　次

1.危険防止のために

1-1　警告用語の種類と意味 ・・・・・・・・・・ 1
1-2　本機の仕様にあたっての諸注意 ・・・・・・・・・・ 2
1-3　警告ラベルの貼付位置（1） ・・・・・・・・・・ 4
1-4　警告ラベルの貼付位置（2） ・・・・・・・・・・ 5

2.ご使用になるまえに

2-1　本機の構成名称 ・・・・・・・・・・ 6
2-2　精米装置の構成 ・・・・・・・・・・ 7
2-3　機械的及び、電気的仕様の確認 ・・・・・・・・・・ 8
2-4　本機の据え付けについて ・・・・・・・・・・ 9

3.運転方法

3-1　操作パネル、前カバーの説明 ・・・・・・・・・・ 10
3-2　試運転の時に ・・・・・・・・・・ 11
3-3　精米のしかた ・・・・・・・・・・ 12
3-4　籾搗精白のしかた ・・・・・・・・・・ 13
3-5　その他、注意事項 ・・・・・・・・・・ 14

4.各部の調整・点検・掃除

4-1　点検、掃除（1） ・・・・・・・・・・ 15
4-2　点検、掃除（2） ・・・・・・・・・・ 16
4-3　電装品パーツリスト ・・・・・・・・・・ 17
4-4　電装品パーツリスト（電気回路図） ・・・・・・・・・・ 18

5.不調な時の原因と対策

5-1　不調な時の原因と対策一覧 ・・・・・・・・・・ 19

1.危険防止のために

1-1　警告用語の種類と意味

◎危険防止のために、本機の危険な箇所には警告ラベルを貼付してあります。
　この警告ラベルでは危険度の高さ（又は事故の大きさ）に従って、次の3段階に分類しています。

以下の警告用語がもつ意味を理解し、本書の内容（指示）に従ってください。

⚠ 危 険	切迫した危険な状態を示し、手順や指示に従わないと死亡もしくは重傷を負う場合に使用されます。
⚠ 警 告	存在する危険な状態を示し、手順や指示に従わないと死亡もしくは重傷を負う場合に使用されます。
⚠ 注 意	存在する危険な状態を示し、手順や指示に従わないと中・軽傷を負う場合、機器・機械が損傷する場合又は原料や製品に不具合が生じる場合に使用されます。

⚠ 警 告

危険防止のために危険な箇所には危険・警告・注意の各ラベルが貼付してあります。
このラベルの注意書きを必ず守って作業を行って下さい。
守らずに作業をしますとケガをする場合があります。
また、各ラベルが剥がれたり、読みづらくなった場合は、即座に新しいラベルと交換し、同位置に貼り付けてください。
新しいラベルは当社にて準備しております。（ラベルは有償となっております）

1.危険防止のために

1-2　本機の使用にあたっての諸注意

⚠ 注 意	作業を行う前には必ず取扱説明書を熟読され、本機を把握してから取扱説明書に従って作業を行ってください。 本機の性能を充分発揮出来ず安全上支障をきたすことがあります。
⚠ 警 告	本機を設置する際は、準備作業を必ず取扱説明書通りに実施し、本機の周りには決して過熱性の物・電気的な高容量物コンプレッサー等のノイズ発生物などの危険な物は置かないようにしてください。 本機に悪影響を与え、安全上支障をきたすことがあります。
⚠ 警 告	危険防止のために、危険な箇所には危険・警告・注意の各ラベルが貼付してあります。 このラベルの注意書きを必ず守って作業を行ってください。 守らずに作業をしますとケガをする場合があります。 また、各ラベルが剥がれたり、読みづらくなった場合は、即座に新しいラベルと交換し同位置に貼り付けてください。 新しいラベルは当社にて準備しております。（ラベルは有償となっております）
⚠ 警 告	当社に無断で本機を改造したり、取り付けられているものを外したり加工をほどこし、本機と関係のない物を取り付けたりは、絶対にしないでください。 本機の性能を充分発揮出来ず安全上支障をきたすことがあります。
⚠ 警 告	使用頻度に合わせて本機の点検・清掃は必ず行ってください。 本機の性能を充分発揮出来ず、安全上支障をきたすことがあります。 また、点検・清掃を行う場合は必ず元電源を切ってから作業してください。 守らずに作業しますとケガをする場合があります。
⚠ 警 告	本機を使用する場合の電気工事に関しては、電気工事 有資格者又は電気工事資格店にて本機の取扱説明書内に 記載されている基準を十分満たす工事を実施すること。 自分で勝手に工事はなさらないでください。 本機に悪影響を与え安全上支障をきたすことがあります。 又、既存の動力配線をお使いになる場合は本機の基準に 適応していることを確認後、本機を使用してください。

1.危険防止のために

⚠ 注 意	本機の御使用後、及び保管の際には必ず、電源プラグを コンセントから抜いてください。 感電・漏電・火災の原因となります。
⚠ 注 意	水のかかる場所や火気の近くでは使用しないでください。 感電・漏電・火災の原因となります。
⚠ 注 意	電源プラグを抜く場合は、電源コードを持たずに必ず 電源プラグを持って引き抜いてください。 感電や発火する場合があります。
⚠ 警 告	改造はしないで下さい。また、修理技術者以外の人は 分解や修理をしないでください。 火災・感電・ケガの原因となります。
⚠ 警 告	本機を水につけたり、本機に水をかけたりしないでください。 ショート・感電の恐れがあります。
⚠ 警 告	電源プラグの刃（プラグ先端）及び刃の取り付け面にほこり が付着している場合は、よく拭き、ほこりを取り除いてください。 火災の原因となります。
⚠ 警 告	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みが ゆるい場合は本機を使用しないでください。 感電・ショート・発火の原因となります。
⚠ 警 告	指定の電源以外では使用しないでください。 火災・感電の原因となります。
⚠ 警 告	電源コードを傷つけないでください。 無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、 高温部に近づけたり、重たいものを載せたり、挟みこんだり、 加工した場合は、電源コードが破損し、火災・感電の原因と なります。
⚠ 警 告	電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込んでください。 感電・ショート・発煙・発火の原因となります。

※上記以外の注意点及び詳細は各作業内容に合わせて記載してあります。よく熟読され、
　必ず守ってください。

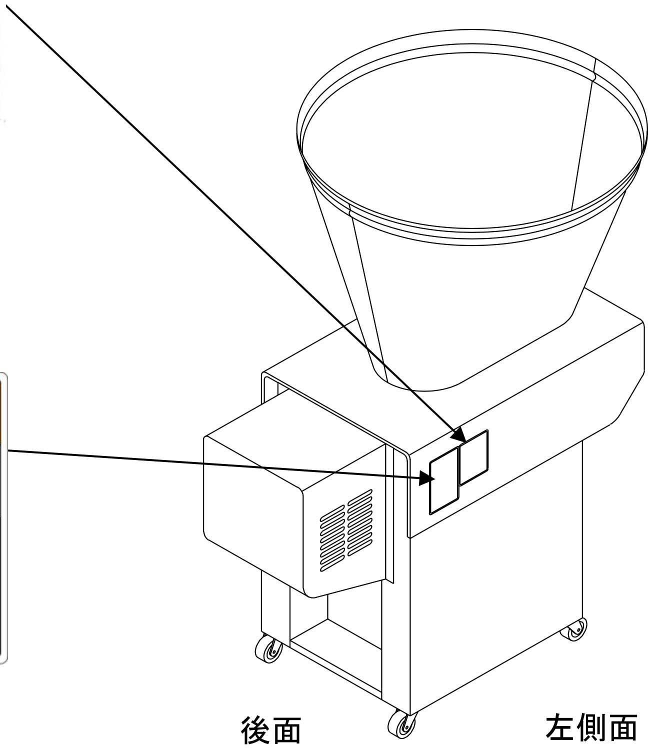
1.危険防止のために

1-3 警告ラベルの貼付位置(1)

警告	危険防止のために、危険な箇所には危険・警告・注意の各ラベルが添付してあります。 このラベルの注意書きを必ず守って作業を行ってください。守らずに作業をしますとケガをする場合があります。 又、各ラベルがはがれたり、読みづらくなった場合は即座に新しいラベルと交換し、同位置に貼り付けてください。新しいラベルは当社にて準備しております。

ラベルの説明
運転前には取扱説明書を熟読し、本機の性能・機能を充分理解してから運転してください。 本機の性能を充分発揮できず、支障をきたすことがあります。 (注文コード 260-433-11)

ラベルの説明
機体内部の点検、修理やベルトの交換、その他停電の時等には、危険防止のため必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。 (注文コード 260-410-11)



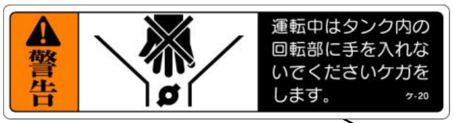
1.危険防止のために

1-4 警告ラベルの貼付位置(2)

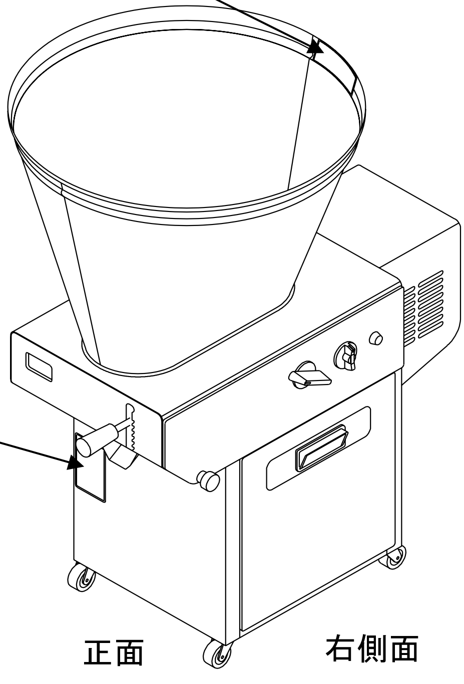
⚠ 警告

危険防止のために、危険な箇所には危険・警告・注意の各ラベルが添付してあります。
このラベルの注意書きを必ず守って作業を行って下さい。守らずに作業をしますとケガをする場合があります。
又、各ラベルがはがれたり、読みづらくなった場合は即座に新しいラベルと交換し、同位置に貼り付けてください。新しいラベルは当社にて準備しております。

ラベルの説明
タンク内の下部には、回転部があります。運転中にこれらを手で直接触るとケガをしますのでタンク内の掃除や、なんらかの理由で、手を入れる時は必ず運転を停止して、電源プラグをコンセントから抜いてください。 (注文コード　260-419-10)



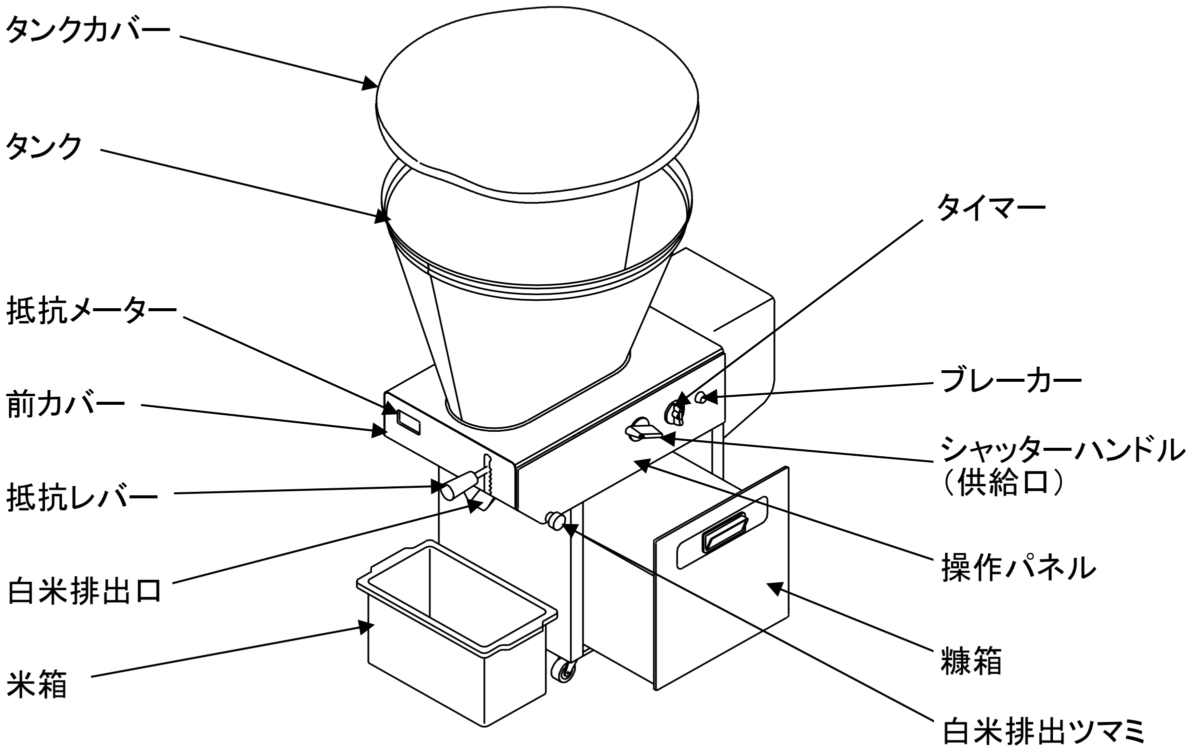
ラベルの説明
運転中、回転しているロールにさわるとケガをしますので、運転中は白米出口に絶対に手を入れないでください。 (注文コード　260-402-11)

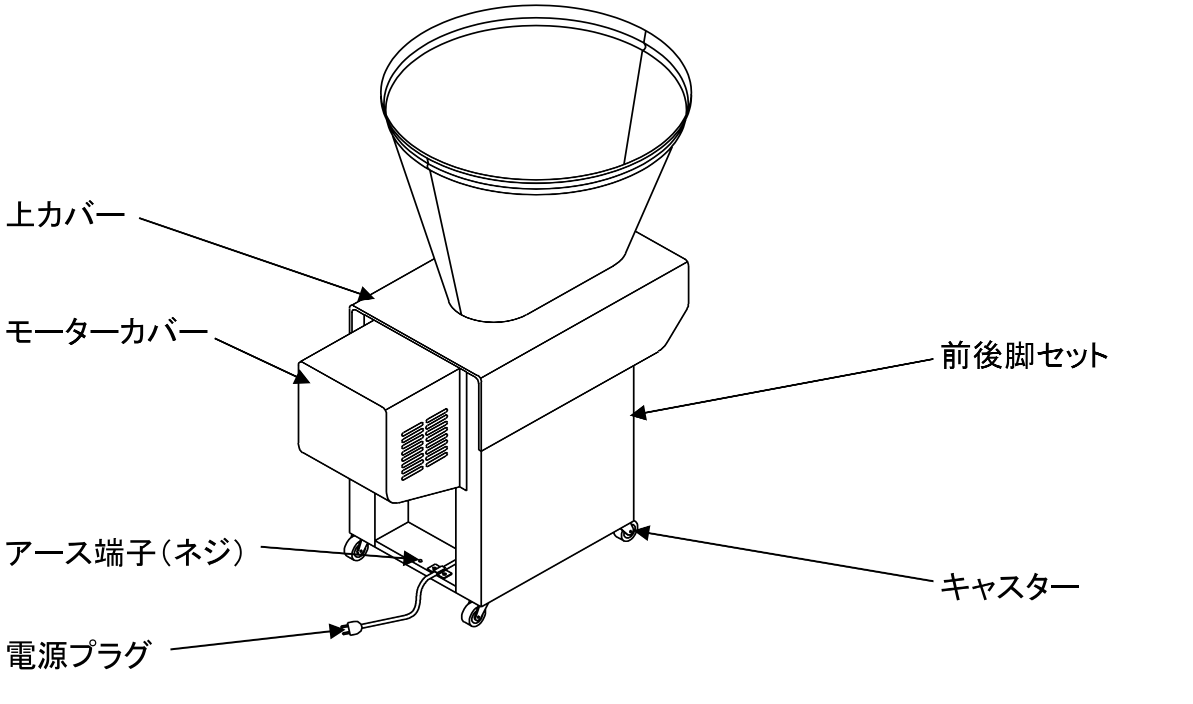


2.ご使用になるまえに

2-1　本機の構成名称

> ⚠ **注意**　ご使用の前には必ず取扱説明書を熟読され、本機の性能及び装置を充分理解したうえでお取り扱いください。

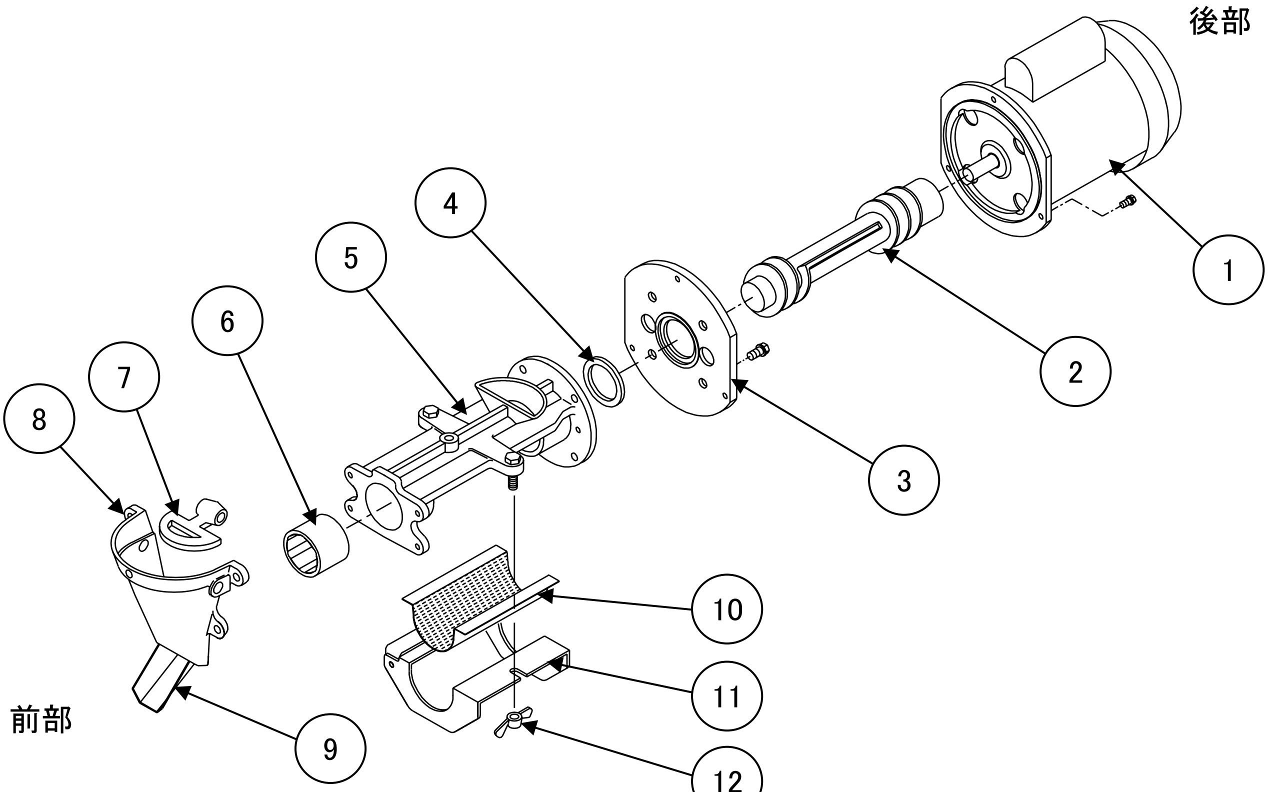




2.ご使用になるまえに

2-2 精米装置の構成

⚠ 注意	ご使用の前には必ず取扱説明書を熟読され、本機の性能及び装置を充分理解したうえでお取り扱いください。



1	モーター	8	還流バコ
2	ロール	9	白米排出口（排出口シャッターガイド）
3	モーターフランジ	10	除糠網
4	フェルトパッキン	11	網枠
5	本体	12	チョウナット　M8
6	円筒		
7	主抵抗器		

2.ご使用になるまえに

2-3 機械的及び、電気的仕様の確認

注意 ご使用の前には必ず取扱説明書を熟読され、本機の性能及び装置を充分理解したうえでお取り扱いください。

項目 ＼ 機種	仕　　　様 しろがねーSLA型
毎時能力	玄米20～30kg/h
外形寸法	幅44.5　×　奥行64.5　×　高さ76.2　cm
タンク容量	籾10kg　,　玄米15kg
本機重量	24.8kg
モーター	コンデンサー始動型250W
電源	単相100V
ヒューズ/ブレーカー容量	15A以上
安全装置	過負荷保護ブレーカー（サーマルプロテクター）内蔵

（注）1.　毎時能力は玄米の乾燥状態、品種、米質、搗精時期などの諸要因により多少の変化があります。
2.　仕様及び外観は改良のため予告なく変更する事があります。

単相モーターの出力と各設備の容量（参考）								
モーター	電圧	開閉器	超過目盛	配線最小太さ		配線最大長さ	アース線最小径	
（W）	（V）	（A）	電流計（A）	直径mm	（mm²）	（m）	直径mm	（mm²）
250	100	10以上	10	1.6	（2.0）	15	1.6	（2.0）

（注）1.　使用電源が、上記に示す電気的な仕様を十分満足しているか確認してください。
2.　電灯線への接続、タコ足配線は絶対にしないでください。発熱、火災等の原因となります。
3.　電気容量の大きい他の電気製品と同時運転はしないでください。（掃除機、電熱器等）
4.　コードリールは使用しないでください。不調の原因となります。
5.　ヒューズ/ブレーカー容量は15A以上をご使用ください。
6.　安全のため必ずアース（接地工事をして）をとってください。

2.ご使用になるまえに

2-4 本機の据え付けについて

注意

作業を行う前には必ず取扱説明書を熟読され、本機を把握してから、取扱説明書に従って、作業を行ってください。
本機の性能を充分発揮できず安全上支障をきたすことがあります。
作業する際には身の回りに充分気を配り、ケガをしないように注意してください。

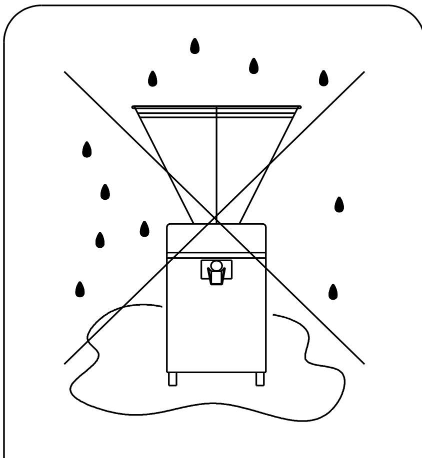
注意

本機を設置する際は、準備作業を必ず取扱説明書通りに実施し、本機の回りには決して過熱性の物・電気的な高容量物・コンプレッサー等のノイズ発生物などの危険な物は置かないようにしてください。
又、設置する場所は板の間などの床面の弱い所・凹凸な面・傾斜な所は絶対にさけてください。
本機に悪影響を与え安全上支障をきたすことがあります。

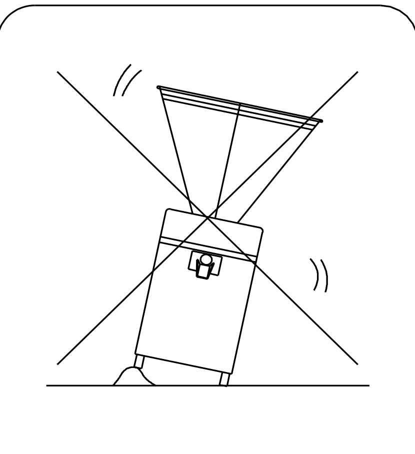
注意

電源を接続される場合は、壁に取り付けられているコンセントに直接本機の電源プラグを差し込んでください。
コードリール・テーブルタップ（延長ケーブル）等は絶対に使用しないでください。
電圧が低下し本機に悪影響を与え、安全上支障をきたすことがあるます。

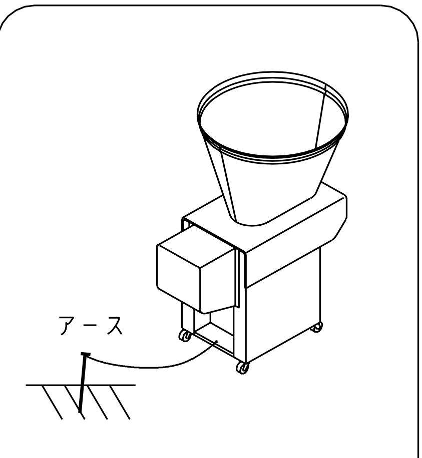
・据え付けの際は、下記の内容を守ってください。



湿気の無いところで、水・油等のかからない場所を選んで



外部から振動の伝わらない場所で機体が水平になるように設置してください。

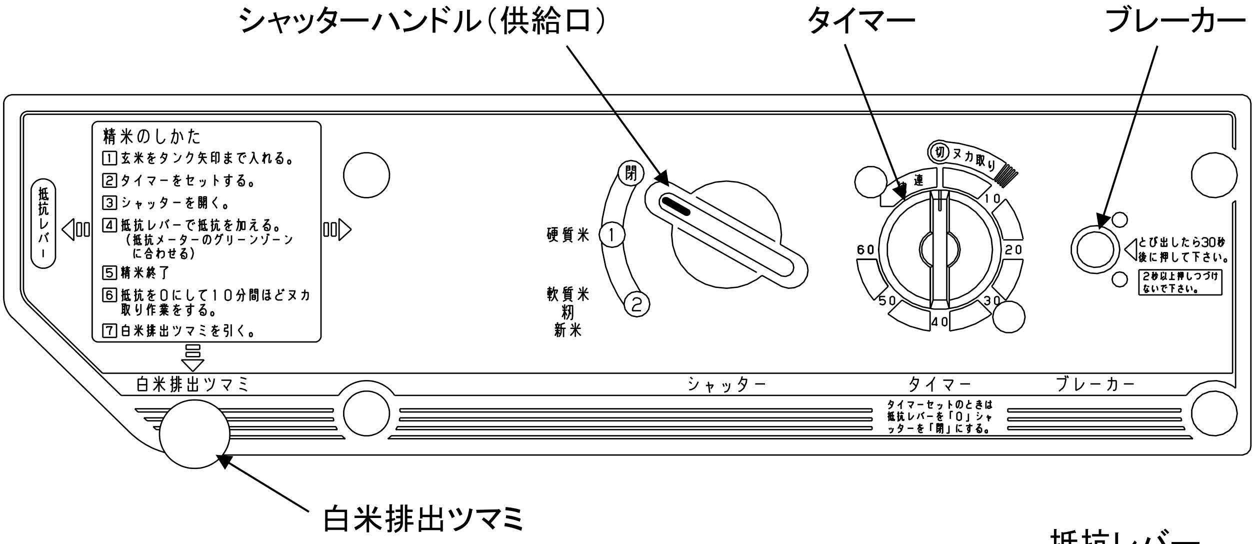


安全のためアースを取ってください。

3.運転方法

3-1 操作パネル、前カバーの説明

⚠ 注意	作業を行なう場合、身の回りには充分気を配り、可動部には絶対に接触しないようにしてください。安全上支障をきたす場合があります。



名　　称	用途及び説明
抵抗メーター	抵抗レバーの調節具合を確認するときに使います。
シャッターハンドル	玄米・籾にあわせて、供給口への循環量を調節するときに使います。
タイマー	本機の運転、停止、及び精米時間の設定をするときに使います。
ブレーカー	過負荷時に作動します。
白米排出ツマミ	タンク内のお米を排出するときに使います。
抵抗レバー	標準米、軟質米、硬質米など、お米の種類によって調節します。

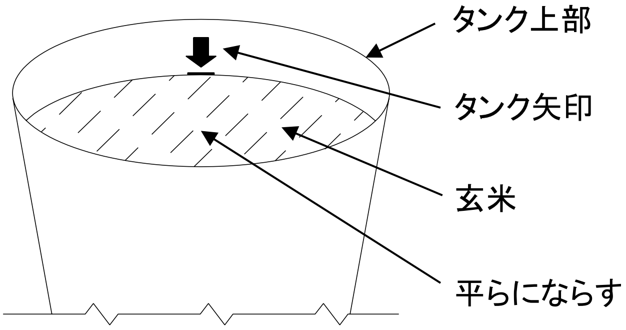
3.運転方法

3-2 試運転の時に

注意 作業を行なう場合、身の回りには充分気を配り、可動部には絶対に接触しないようにしてください。安全上支障をきたす場合があります。

・運転前は、タンク内を米糠等で拭き取り、滑りやすいようにしてください。
タンク内の滑りが悪いと、米が片流れを起こし、むら搗きの原因となります。

・タンク内の矢印まで、玄米又は籾を張り込んでください。
玄米で15kg、籾で10kgまで張り込めます。
それ以上に張り込んだり米を平らにならさない場合はむら搗きや、片流れの原因となります。



・タイマーのセットは、初回は短めに合わせてください。
白米になってから長時間、精米を続けますと砕米発生の原因となることがあります。
次回からは、時間の過不足を見て加減してください。

・シャッターの開き具合は、普通初めは目盛の「2」(全開)とします。
電気事情の悪い地方や、硬い玄米のときは目盛を「1」に合わせてください。

・抵抗の強さは、初回は抵抗メーターのグリーンゾーン左側か、中程に合わせてください。
特に軟質米で、途中でグリーンゾーンの右側をオーバーするようなときは、抵抗を1, 2目盛程弱めてください。

・本機は、「ソフトマチック」調圧抵抗装置付きです。
「ソフトマチック」の作用で普通は、途中抵抗の調節は不要です。

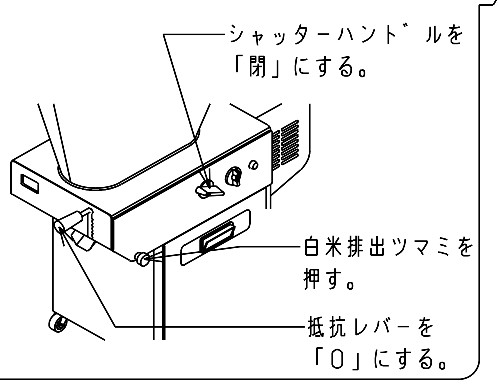
・1～2回ご使用になって、お米の性質と、精米機の具合がおわかりになったら、次回から抵抗の強さ、タイマーの時間等を加減してご使用ください。

3.運転方法

3-3 精米のしかた

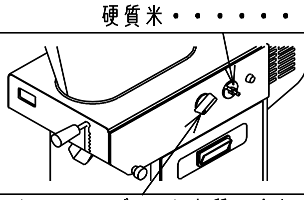
注意 作業を行なう場合、身の回りには充分気を配り、可動部には絶対に接触しないようにしてください。安全上支障をきたす場合があります。

◎玄米１５ｋｇを矢印まで入れる。



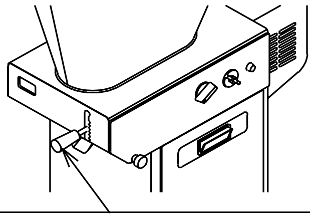
◎タイマーとシャッターハンドルのセット

１．タイマーの時間を米質に合わせてセットします。
　セットの目安　標準米、軟質米・・・３０～３５分
　　　　　　　　硬質米・・・・・・・・４０～４５分



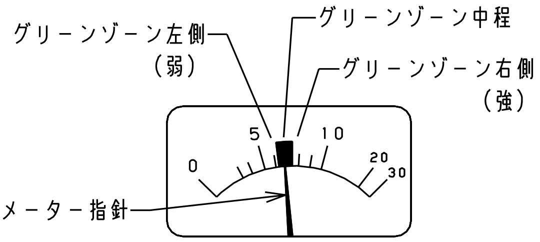
２．シャッターハンドルを米質に合わせて開きます。
　標準米、軟質米、新米の時・・・・・２（全開）
　硬質米、もち米・・・・・・・・・・・１

◎抵抗の調節



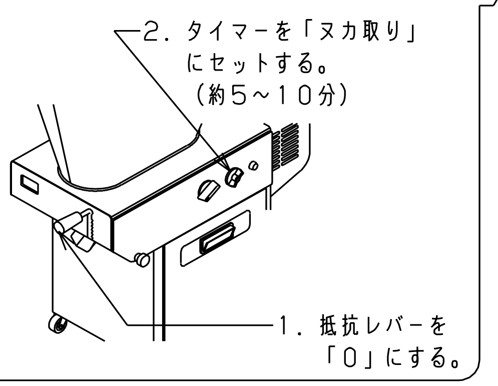
- 抵抗レバーを調節して、抵抗メーターのグリーンゾーンに合わせる。
- 始めてから５分程の頃を見て、メーターに合わせて下さい。

グリーンゾーンの合わせ方

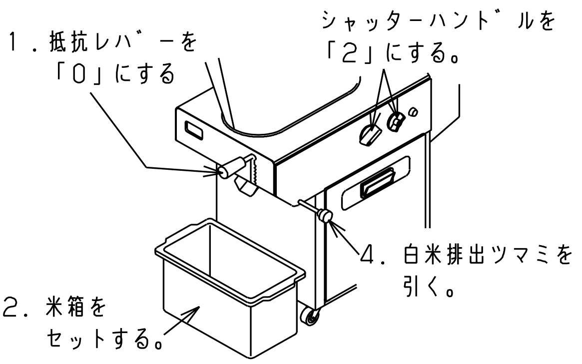


標準米・・・グリーンゾーン中程又は左側
軟質米・・・グリーンゾーン左側
硬質米・・・グリーンゾーン中程又は右側
（新米は少々弱くセット）

◎糠取り（研米）



◎白米排出

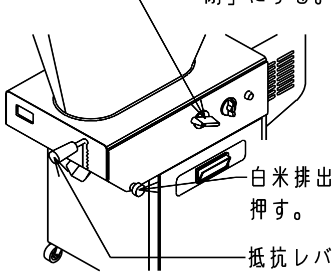


3.運転方法

3-4 籾精白のしかた

注意 作業を行なう場合、身の回りには充分気を配り、可動部には絶対に接触しないようにしてください。安全上支障をきたす場合があります。

◎籾１０ｋｇを矢印まで入れる。

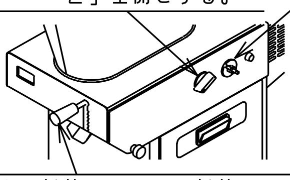


シャッターハンドルを「閉」にする。

白米排出ツマミを押す。

抵抗レバーを「０」にする。

◎タイマー、シャッターハンドル、抵抗の調節



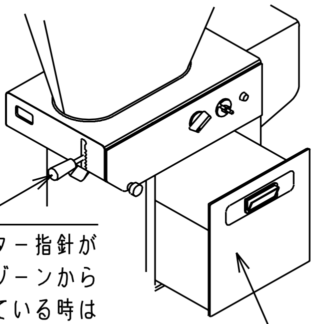
１．タイマーを３５分程にセットする。
・次回からは結果を見て適当に加減して下さい。

２．シャッターハンドルを「２」全開とする。

３．抵抗レバーを、抵抗メーターのグリーンゾーン中程又は左側に合わせる。
・搗き始めは抵抗が不安定ですから、５分程して安定した時に合わせて下さい。

籾が６～７割程取れた頃（約１０分）

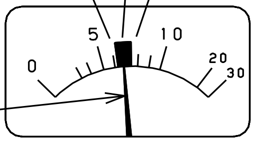
＊脱プが早すぎて、供給口に詰まる時は、１度抵抗レバーを「０」にして籾殻をぬく。



１．糠の中間排出をします。
（注意）必ず実施して下さい。

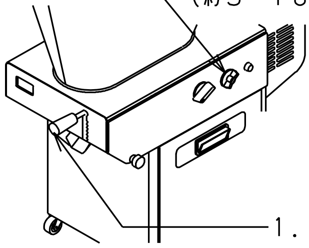
２．抵抗メーター指針がグリーンゾーンから左に外れている時は抵抗を調節してグリーンゾーン中程に合わせます。

グリーンゾーンの合わせ方



標準米・・・グリーンゾーン中程又は左側
軟質米・・・グリーンゾーン左側
硬質米・・・グリーンゾーン中程又は右側
（新米は少々弱くセット）

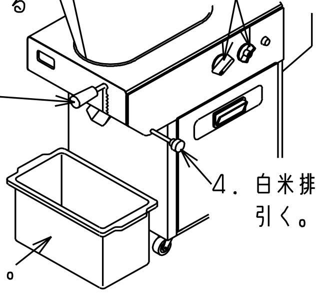
◎糠取り（研米）



１．抵抗レバーを「０」にする。

２．タイマーを「ヌカ取り」にセットする。
（約５～１０分）

◎白米排出



１．抵抗レバーを「０」にする

２．米箱をセットする。

３．タイマーを「ヌカ取り」にセット（５～１０分）し、シャッターハンドルを「２」にする。

４．白米排出ツマミを引く。

3.運転方法

3-5 その他、注意事項

⚠ 注意	作業を行なう場合、身の回りには充分気を配り、可動部には絶対に接触しないようにしてください。安全上支障をきたす場合があります。

・モチ米の場合には、通常の玄米精白と同じ要領で抵抗をかけて、運転を行ってください。
ただしモチ米精白の場合、通常の玄米精白に比べて、時間が長くかかります。

・籾搗きの場合は、米糠・籾ガラが多く出ますので中間排出を必ず行なってください。

・新米時期や軟質米、モチ米などのご使用で、タンク内又は本機内で米づまり又は、むら搗きが発生することがあります。その場合は、下記の様にしてください。

（1） 抵抗レバーを「0」の位置にする。
（2） シャッター（供給口）を、全開にする。
（3） 白米排出ツマミを引いて、硬着した米を一度取り出しタンク内に戻してください。
（4） ツマリをほぐしてから、精米を再開してください。

次に精米する場合は、次の手順で行なってください。

（1） シャッター（供給口）を全開にする。
（2） 抵抗を「弱」位置から、徐々に抵抗を加える。
（3） 機械が新しいときは、抵抗が弱くても精米ができる場合があります。

◎参考
普通、玄米水分が、15%前後のものを標準米、16%～17%のものを軟質米（高水分米）、13%以下のものを硬質米（過乾燥米）といわれております。また、新米時は、収穫されてから、1ケ月後位までの時期をさします。

⚠ 注意

運転中停電した場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源が復帰したときに本機が作動し、思わぬ事故を招くことがあります。

・また停電の際には、次のことを行なってください。
（1） シャッター（供給口）の位置を「閉」にしてください。

⚠ 注意

運転終了後は、必ず本機の電源プラグをコンセントから抜いてください。

4.運転後の取扱い

4-1 点検、掃除（1）

警告 点検・掃除・作業を行う場合及び製粉作業終了後は、必ず電源プラグをコンセントより抜いてください。安全上支障をきたす場合があります。

・糠箱にたまった糠は、精米するたびに排出してください。
・タンク内の糠は、乾いた布で拭いてください。
・除糠網についた糠、小米は時々除去してください。
・使用後は、タンク内に異物が入らないように、タンクカバーを本機にかぶせてください。

除糠網の掃除のしかた

1）．糠箱を外しますと本体の下面に除糠網が、網枠にて保持され、チョウナットにて固定されています。
2）．チョウナットを外し、網枠を回転させてください。（図1）
3）．網枠より除糠網を外し、ブラシ等で除糠網に付着した、小米・米糠を除去してください。（図2）
◎　除糠網の取り付け方は、上記と逆の手順で行なってください。

（図1，2とも白米出口側より見たものです。）

図 1

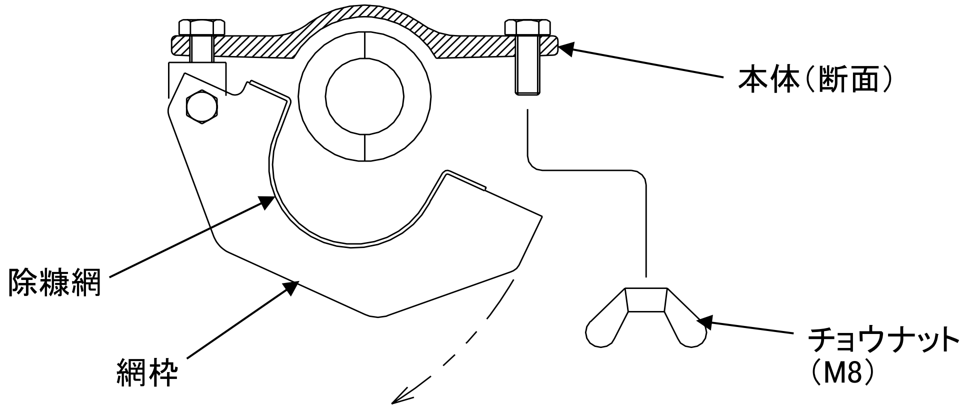
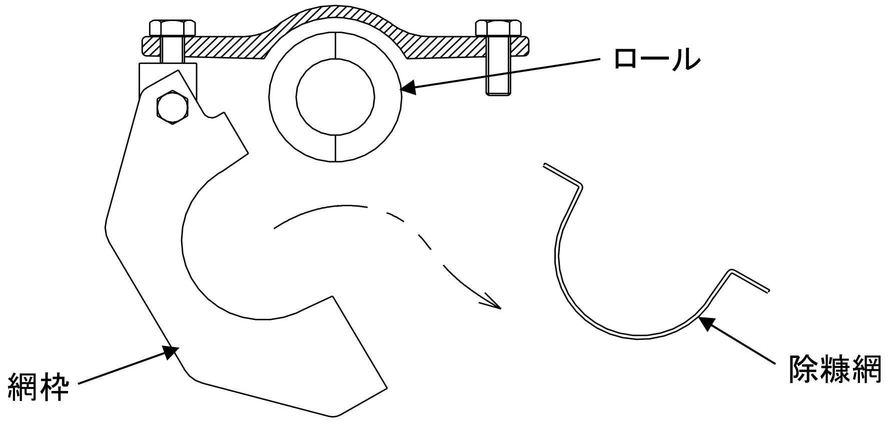


図 2

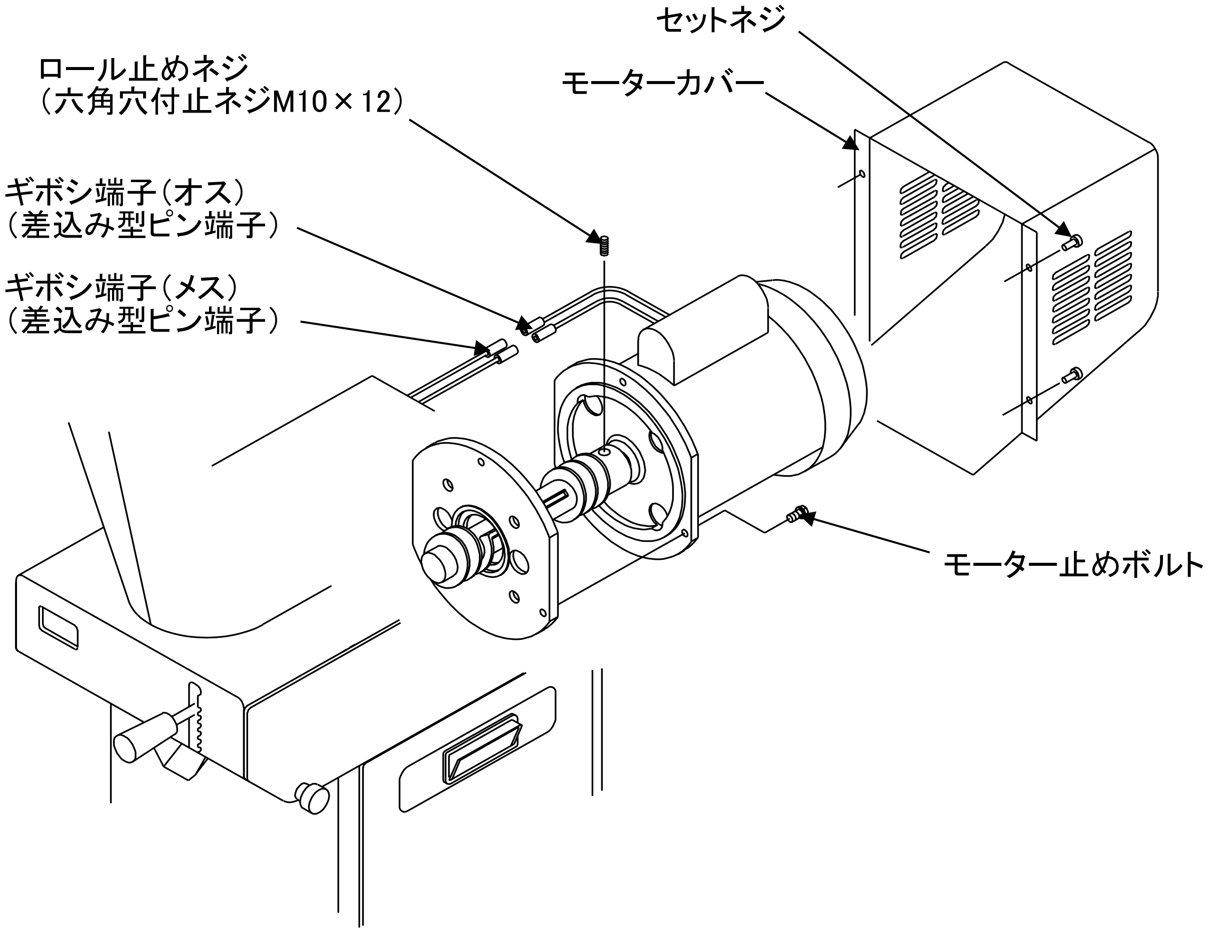


4.運転後の取扱い

4-2　点検、掃除（2）

警告　点検・掃除・作業を行う場合及び製粉作業終了後は、安全の為、必ず電源プラグをコンセントより抜いて作業を行ってください。

モーターとロールの外しかた



1. モーターカバーを外す。
   ・セットネジ4本を外し、モーターカバーを外してください。

2. モーターを取り出す。
   ・ギボシ端子2個を外す。
   ・モーター止めボルト3個を外し、モーターを後方に引き出す。

3. ロールを外す。
   ・ロール止めネジ（六角穴付ネジ）を外して、モーターから引き抜いてください。

4.運転後の取扱い

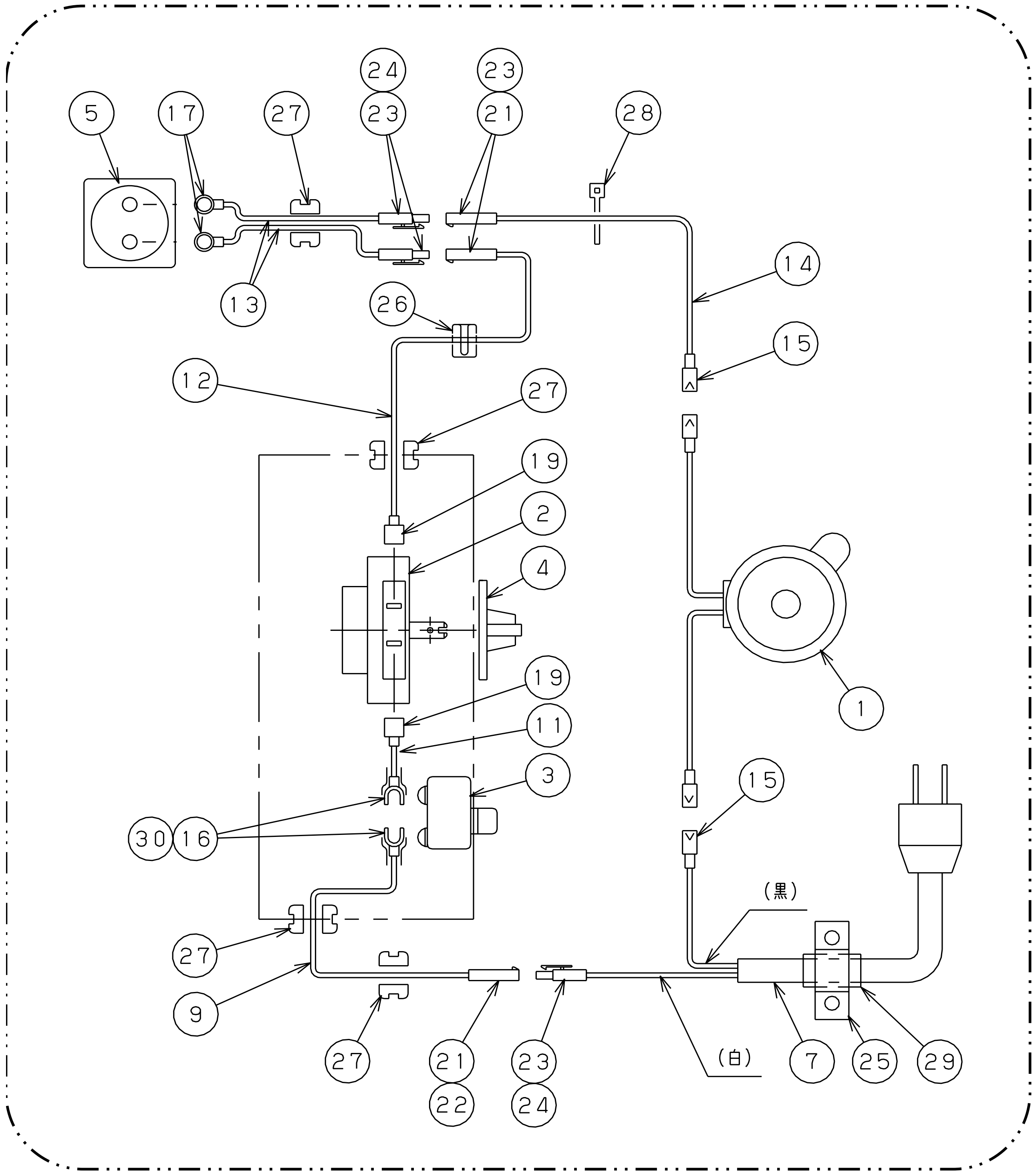
4-3 電装品パーツリスト

しろがねｰSLA型　電装品パーツリスト

品番	コード	品　　名	数量	備　　　考
1	165-610-00	モータ(リード線，端子付き)	1	SCF-KF 250W 4P 100V
2	9DF-J60-A0	ゼンマイタイマ	1	DFJ60-A013
3	165-530-12	サーマルプロテクター	1	OR627　8.0A
4	9GI-NK0-01	タイマーツマミ	1	K-1ツマミ90°（黒）
5	165-519-11	抵抗メーター	1	Y501K，グリーンゾーン付き
7	165-514-12	電源コード(プラグ付)	1	1.25sq，平形キャプタイヤ　L=2m
9	165-540-11	配線コード(E)白	1	VSF1.25sq　L=300
11	165-561-10	配線コード(N)白	1	VSF1.25sq　L=110
12	165-562-11	配線コード(O)白	1	VSF1.25sq　L=480
13	165-546-11	配線コード(M)白	2	VSF1.25sq　L=80
14	165-563-10	配線コード(P)白	1	VSF1.25sq　L=850
15	924-140-09	差込形ピン端子　F形	2	PC 4009-F
16	923-341-25	Y端子	2	1.25-4
17	923-151-25	丸端子	2	1.25-5
19	924-325-09	ファストン端子FA形	2	TMDEN480509-FA
21	165-548-10	リセプタクルハウジング	3	LR-01F
22	165-549-10	ピンコンタクト	3	LLM-61T-2.0
23	165-550-10	プラグハウジング	3	LP-01
24	165-551-10	ソケットコンタクト	3	LLF-61T-2.0
25	103-250-11	コード押え	1	
26	103-518-11	コードクランプ	6	ハイステッカー　E25
27	103-517-11	コードブッシュ	5	K-69　φ12
28	157-508-11	SKバインダー	4	SKD-80M
29	165-531-11	ビニールチューブ	1	内径φ6
30	924-701-25	絶縁キャップ	3	TIC 1.25

4-4 電装品パーツリスト(電気回路)

しろがねーSLA型　電装品パーツリスト(電気回路図)



5.不調な時の原因と対策

5-1　不調な時の原因と対策一覧

警告　点検・掃除・作業を行う場合及び精米作業終了後は、安全の為、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、作業を行ってください。

状　態	原　　因	対　　策
除糠網に糠が固着する	玄米の水分が適正ではない。	玄米水分をできるだけ14から5%に調整する。
	シャッター(供給口)の開き過ぎ。抵抗が弱い。	シャッターを「1」にし、抵抗をグリーンゾーン右側にあわせる。
	糠箱に糠が満タンになっている。	満タンの糠を排出する。
タイマーを回しても機械が運転しない	電気がきていない。	停電している。電力会社に通知。 電源ヒューズが切れている。
	精米機のブレーカーが作動している。	ブレーカーの働いた原因を取り除いてから、ブレーカーの赤いボタンを押す。 (2秒以上押し続けないこと)
	コードが断線している。	断線コードを取り替える。
精米時間が長くかかる	抵抗が弱い。	シャッターを「1」にし、抵抗をグリーンゾーン右側にあわせる。
むら搗き、片流れが生じる	張り込み量が多い。	張込量はタンク内矢印線まで。 (玄米15kg又は籾10kg)
	機体が傾いている。	機体を水平に据え付ける。
	タンク内面に油等が付着している。	タンク内面を布切れできれいに拭く。糠などで擦る。
	タンク内に抵抗となるキズがある。	タンクの交換を要する。
ブレーカーが作動する	抵抗が強すぎる。	抵抗をグリーンゾーンに合わせる。
	他の単相モーター付きの機械や電熱器が働いている。	消費電力の大きい電気製品と同時使用をさける。
	配線が不適当。	適正配線されたコンセントへ直接プラグを接続する。
	コードリールを使用している。(特に巻いたまま使用している。)	コードリールは20A以上のものを伸ばして使用する。(長さ15m以下)
砕米が多く出る	抵抗が強すぎる。	グリーンゾーン左側に合わせる。
	玄米に砕米や胴割れ米がまじっている。	抵抗をグリーンゾーン左側に合わせて砕米の増加を防止する。

保　証　規　定

1.保証期間

納入日より起算して満1ヶ年といたします。
但し業務用は3ケ月といたします。
（保証期間が過ぎると総て有償となります。）

2.保証内容

保証期間に於いて、本機を構成する部品、材料等に、設計製作上の欠陥があらわれ、弊社がこの欠陥を認めた場合に限り、弊社特約販売店または指定サ－ビス工場で当該部品の取り替え、または修理を無料でいたします。

3.適用除外

保証期間内でも、次の場合には保証いたしません。

（1）使用上、並びに取扱上の不注意、過失、点検不備によって、故障が生じた場合。
（2）弊社が規定する仕様の限度を超えて使用し故障した場合。
（3）弊社が認めない改造変更が原因となって故障した場合。
（4）弊社純正部品以外の部品使用が原因で故障した場合。
（5）弊社特約販売店、または弊社指定サ－ビス工場以外で修理され、故障した場合。
（6）故障判定資料の不充分なものおよび損傷部品を紛失された場合。（故障交換部品はクレ－ム判定完了まで保管して下さい。）
（7）本書のご提示がない場合。
（8）本書に、購入日（年月日）・購入先（販売店名及び農協名）の記入がない場合、あるいは文字を書き換えられた場合。

購入年月日	平成　　　年　　　月　　　日
購入先 （販売店及び農協）	

警　告

◎この取扱説明書を熟読され充分理解された上で、本機の操作及び保守・点検を行って下さい。

◎この取扱説明書を本機の操作及び保守・点検を行う場合にいつでも見られるように大切に保管して下さい。

●お問合せは、ご購入先あるいは弊社の出張所、又は本社へ

マルマス機械株式会社

本社・工場　富山県中新川郡上市町若杉2　TEL 076-472-2233(代)
新潟工場　新潟県燕市小池5212-3　TEL 0256-66-2411～2
札幌出張所　札幌市北区篠路2条5-16-17　TEL 011-771-5357
福岡出張所　福岡市東区和白丘1丁目7番3号　TEL・FAX 092-606-3293
<ホームページ> http://www.marumasu.co.jp　〈e-mail〉 mill_star@marumasu.co.jp